

メディア社会学科 卒業論文・卒業研究ガイダンス

1. 卒業論文・卒業研究の目的と位置づけ

- 1) メディア社会学科を卒業するには、4年次において、「卒業論文」（「卒業論文演習1・2」と「卒業論文」の合計12単位）、「卒業研究」（「卒業研究1・2」の合計4単位）のどちらかを選択し、履修・単位修得しなければならない
- 2) 「卒業論文」：「専門演習2」と「卒業論文演習1・2」を履修することによって、自分の研究テーマを決めて、深く研究を進めて論文を作成することを目標としており、メディア社会学科では学生に「卒業論文」による卒業を推奨している。
- 3) 「卒業研究」：演習に所属せず、社会学部3学科がカバーする領域を広く修得して、社会学部を卒業し社会に出るにふさわしい見識を獲得することを目指す教育プログラムであり、春学期2課題、秋学期2課題のうち、春学期、秋学期にそれぞれメディア社会学科課題を1つ以上選択するという条件のもとでレポートを作成し、4課題それぞれについての口頭試問に合格することで単位が修得される。

2. 卒業論文・卒業研究の選択（『履修要項』89ページ）

- 1) 3年次に「専門演習2」を履修した学生：4年次には原則として「卒業論文演習1・2」「卒業論文」を履修する。ただし、以下の場合、「卒業研究」の選択となる。
 - ① 「卒業研究」へ選択を変更する場合は、「専門演習2」指導教員の下承を得て変更できる。
教務事務センター履修・成績窓口で配布する指定の届出用紙に「専門演習2」指導教員のサインを得て、下記の提出期限までに提出すること。後述の「研究希望課題申請書」を合わせて提出すること。
提出期限：2018年3月15日（木）17:00
提出場所：教務事務センター履修・成績窓口
 - ② 3年次までに「専門演習1」「専門演習2」のどちらか一方でも履修したが不合格（単位未修得）となった学生は、4年次に「卒業論文」を選択することはできず、「卒業研究」を履修することになる。ただし、4年次に「専門演習1」「専門演習2」のうち不足している科目を再履修し、次年度に「卒業論文」を選択することはできる。
- 2) 3年次に「専門演習2」を履修しなかった学生：4年次に「卒業研究」を履修することになる。

3. 卒業論文（『履修要項』89～92ページ）

- 1) **指導教員**：「卒業論文演習1・2」の指導教員は、原則として「専門演習2」の指導教員と同一教員とする。
- 2) **履修規定**
 - (1) 在学7学期以降の学生のみ「卒業論文演習1」の履修が認められる。
 - (2) 「卒業論文演習1・2」「卒業論文」を履修するためには、「専門演習1」「専門演習2」の単位

を修得していなければならない。

- (3) 「卒業論文演習 2」を履修するためには、「卒業論文演習 1」の単位を修得していなければならない。
- (4) (2)(3)について、3年次在学留学者に対しては、特別措置を講じることがある。これについては、指導教員に事前に相談すること。
- (5) 「卒業論文演習 2」を履修中のものでなければ、「卒業論文」を提出することはできない。
- (6) 「卒業論文演習 2」の単位は、「卒業論文」を提出し、「卒業論文」の単位を修得した者のみ与えられる。
- (7) 春学期開講の「卒業論文演習 1」を履修したが不合格（単位未修得）または履修していない場合には、申請することにより秋学期に「卒業論文演習 1」を開講することがある。この場合、「卒業論文演習 2」を次年度の春学期に履修し、「卒業論文」は7月に提出することになる。
- (8) 秋学期開講の「卒業論文演習 2」を履修したが、不合格（単位未修得）、または履修していない場合には、申請することにより次年度春学期に「卒業論文演習 2」を開講することがある。この場合、「卒業論文」は7月に提出することになる。
- (9) (7)(8)については、指導教員のサインおよび捺印を得た上で、申請期限までに「履修希望届」（教務事務センター履修・成績窓口で配布）を教務事務センター履修・成績窓口提出すること。手続きの詳細は、2018年度『履修要項』にて指示する。

3) 登録方法

- 1) 「卒業論文演習 1・2」、「卒業論文」は大学が履修登録するので、科目コード登録は行わないこと。ただし、履修登録状況画面で間違いなく登録されていることを確認すること。
- 2) 「卒業論文」の登録は、「卒業論文演習 2」と同時に履修登録となる。
- 3) 当該年度に限り「卒業論文演習 1」の合格者は、「卒業論文演習 2」の登録を取り消すことはできない。

4) 卒業論文作成スケジュール

2017年11月15日（水） 卒業論文ガイダンス「**卒業論文計画書**」配布（本日）

2018年1月11日（木）～16日（火） 「**卒業論文計画書**」提出

※提出場所：教務事務センター レポートボックス

〃 7月上旬 卒業論文題目届提出

〃 10月下旬 卒業論文題目変更届提出

〃 12月中旬 卒業論文提出（最終日は**15時**まで、**締切厳守**）

2019年1月下旬～2月上旬 卒業論文口頭試問（欠席不可）

5) 卒業論文の提出（予定） ※2018年度の『履修要項』にて指示。

期限： 2019年12月17日（月）～19日（水） 15：00（現時点での予定です。必ず2018年度の『履修要項』で正式な日程を確認すること）

提出先： 2018年11月下旬に社会学部掲示板に掲示する。

提出届： 提出にあたっては「**卒業論文提出許可証**」を添えること。「卒業論文提出許可証」は指導教員が配布する。

形式： 400字×80枚以上。 A4判を原則とし、判型は指導教員の指示に従うこと。ワープロ

の場合 32,000 字以上。マージンを充分にとり、読みやすい行間をとること。

製 本： 簡易製本カバーをセントポールズプラザで各自が購入し、製本作業はセントポールズプラザ等に備え付けの製本機を利用して行うこと。

部 数： 正副 2 部。 提出部数に不足がある場合は受理されない。

6) 卒業論文の審査

- ① 卒業論文の査読は指導教員を含む 2 名の教員が担当する。
- ② 卒業論文の口頭試問は 1 月下旬～2 月上旬に実施する。
- ③ 卒業論文の審査は、査読と口頭試問の結果に基づいておこなう。

【注 1】不十分な計画書は再提出となります。提出が遅れると卒業論文の作成指導に支障が生じます。

【注 2】2018 年度『履修要項』の内容を確認し、本資料からの変更があった場合は、『履修要項』に従うこと。

4. 卒業研究 (『履修要項』92～93 ページ)

1) 研究課題と指導教員

- (1) 卒業研究は、各学科から 4 つずつ提示された課題 (計 12 課題) のうち、「卒業研究 1」は春学期に 2 つ、「卒業研究 2」は秋学期に他の 2 つの課題について研究を進め、レポートを作成などの課題を達成して合格することで 2 単位ずつを修得する。
- (2) 課題の選択において、自学科からの課題が「卒業研究 1」「卒業研究 2」それぞれに 1 課題以上含まれていなければならない。
- (3) 卒業研究を選択する者は、3 年次の 1 月～3 月に、「卒業研究 1」で研究を希望する 2 課題、「卒業研究 2」で研究を希望する 2 課題を記載した申請書を提出する。この希望をもとに、各学科・学部がそれぞれの学生について「卒業研究 1」「卒業研究 2」の研究課題を確定し、履修登録を行う。
- (4) 課題レポートの作成を指導する教員は、各学科・学部が決定する。

2) 履修規定

- (1) 在学 7 学期以降の学生のみ「卒業研究 1・2」の履修が認められる。
- (2) 「卒業研究 1・2」の同時履修はできない。ただし、3 年次在学留学生については、特例措置を講じることがある。これについては、アカデミック・アドバイザーに事前に相談すること。
- (3) 春学期開講の「卒業研究 1」が不合格 (単位未修得) または春学期に「卒業研究 1」を履修していない場合には、秋学期に「卒業研究 2」の単位を修得し、次年度春学期に「卒業研究 1」を履修することとなる。
- (4) 春学期開講の「卒業研究 1」の単位は修得したが、秋学期開講の「卒業研究 2」が不合格 (単位未修得) の場合、または「卒業研究 2」を履修していない場合には、申請することにより次年度春学期に「卒業研究 2」を開講することがある。
- (5) 秋学期開講の「卒業研究 2」の単位は修得したが、春学期開講の「卒業研究 1」が不合格 (単位未修得) の場合、または「卒業研究 1」を履修していない場合には、申請することにより秋学期に「卒業研究 1」を開講することがある。
- (6) (4)(5)については、指導教員のサインおよび捺印を得た上で、申請期限までに「履修希望届」

(教務事務センター履修・成績窓口で配布)を教務事務センター履修・成績窓口に提出すること。
手続きの詳細は、2018年度『履修要項』にて指示する。

3) 登録方法

- (1) 「卒業研究1・2」は大学が履修登録するので、科目コード登録は行わないこと。ただし、履修登録状況画面で間違いなく登録されていることを確認すること。
- (2) 履修を許可された者は、その科目を取り消すことはできない。

4) 卒業研究スケジュール

2017年11月15日 卒業研究ガイダンス 「**研究希望課題申請書**」配布(本日)

2018年1月23日(火)～3月15日(木) 17:00まで

「**研究希望課題申請書**」を教務事務センターレポートボックスに提出

*提出された希望は原則として変更できない。

2018年4月3日(予定) 上級生ガイダンスにて「卒業研究1」「卒業研究2」登録予定の確認、
研究希望課題の申請(対象者のみ*)

*1～3月に「**研究希望課題申請書**」が未提出のもの。

※上記対象者で、上級生ガイダンスに出席しなかった者は、学部が課題を指定する。

〃	4月上旬	学生ごとの研究課題発表(社会学部掲示板に掲示)
〃	5月下旬	「卒業研究1」課題レポート中間提出
〃	6月下旬～7月上旬	「卒業研究1」課題レポート提出
〃	7月上旬～中旬	「卒業研究1」口頭試問
〃	11月上旬～中旬	「卒業研究2」課題レポート中間提出
2019年	1月中旬	「卒業研究2」課題レポート提出
〃	1月中旬～試験期間終了日	「卒業研究2」口頭試問

5) 課題レポートの提出期間・場所

2018年度『履修要項』にて指示する。

6) 課題レポートの形式

課題レポートは1課題につき4000字以上を量的な最低水準とする。

【注】2018年度『履修要項』の内容を確認し、本資料からの変更があった場合は、『履修要項』に従うこと。

以上